

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

## かけはし



学校HP

## 信頼関係を基軸に据えて

校長 中嶋 太

令和6年度が始まり、1か月が経とうとしています。年度当初の保護者会には、多数の保護者の皆さんにお越しいただき、ありがとうございます。子どもたちは、緊張しながらも新しい環境に慣れ、新しい目標に向かって努力を続けているところです。中には、頑張り過ぎが祟って、疲れが出やすい時期でもあります。そういうときには、頑張りを認め、温かく励ましていただけたら幸いです。また、先日、警察の方から7歳児の交通事故の多発傾向について話を聞く機会がありました。1年生になると、子どもだけの行動が増えたり、行動範囲が広がったりして、事故に遭いやすいとの話でした。交通安全に向けた注意喚起について、地域全体で見守っていきたいと考えます。保護者・地域の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

さて、学校と家庭とのよりよい関係づくりについて言及させていただきます。私は、日ごろから、「学校と家庭は車の両輪の関係である」と考えています。車輪の向きが一致していなければ、思い通りに車は前に進むことはできません。特に、自己判断をする経験の少ない子どもたちにとって、ナビゲーターの指示が異なることは、混乱の基となります。思い描くゴールは相互に共有しておきたいものです。

学校では、「西東京あったか先生」の取組を推進しています。「西東京あったか先生」とは、子どもたち一人一人を大切に作る取組です。詳細は、西東京市及び学校のホームページをご覧ください。もし、「西東京あったか先生」とは異なる対応が見られたときには、遠慮なさらずご指摘ください。教職員に話せば、管理職（校長、副校長）にご相談ください。よろしく願いいたします。

それでも、子どもたちの前では、教職員のことを悪く言わないようお願いいたします。子どもたちは、素直です。だめな先生・嫌いな先生の言うことは、反発して聞き入れようとはしません。逆に、好きな先生・すてきな先生の言うことは、よく聞き、よく受け止めようとします。頑張りが充実感につながり、様々なサイクルが好転するきっかけとなります。

お子さんが、生き生きと自己実現を図っていくためには、学校と家庭が信頼関係を基軸に相互に支え合うことが重要です。5月11日（土）には、学校公開があり、引取訓練も予定されています。また、5月の中下旬には、個人面談があります。年度当初の個人面談は、希望制ですが、信頼関係が深まる場になれば幸いです。よろしく願いいたします。

## ★5月 生活目標 「きまりをきちんとまもろう」

東伏見小学校には、仲良く、楽しい学校生活を過ごすための決まり「むらさきの子」があります。登下校や休み時間の過ごし方、持ち物など、自分で考えて行動することができるよう、指導してまいります。

生活指導部



※令和6年度より、「学校だより」の書式等を変更いたします。5月より、「学年だより」の発行を任意とします。詳細は4月号をご覧ください。ご理解をお願いします。